

創立147周年

学校便り

令和5年度

No.6



進取

令和5年10月30日発行

阿久根市立阿久根小学校
27学級 児童数439人

読書の秋！「ひらいてとじた 笑顔がふえた」

校長 中村 一成

この標語は2023「こども読書週間」の入賞作品です。作者の方は、「生まれてきた子供のためにたくさんの絵本を買い、読み聞かせを行いながら、いつか自発的に読み出す頃、本の世界に触れ笑顔になってほしい。」という想いを作品にこめたそうです。保護者の皆さんも、「あ、この絵覚えてる」「このお話は子供が小さい頃読んであげたな」と思い出す本があるのではないのでしょうか。私も小学生の時に出会い、今でも大切にしている本があります。「おいしいのぼうけん」という絵本です。この本との出会いは小学校2年生のときでした。冬休みに転校することになり、その時の担任の先生から記念にといただいた本です。それまでじっとしていることが苦手で、外で遊んでばかりいた私が初めて夢中になって読んだのを今でもよく覚えています。それから、転校前の友達のことを思い出しては手に取り読んでいました。大人になり、初めて教師になったとき、クラスの子供たちに紹介した本もこの本でした。我が子が幼いときにもよく読んで聞かせました。今では古くなりページも黄ばんできていますが、ぜひ阿久根小の子供たちにも紹介しようと思っています。

阿久根小では、11月に「読書まつり」を実施します。図書委員会による読み聞かせや読書クイズ、しよりの作成も行う予定です。ぜひご家庭でもこの機会に親子読書に取り組まれてはいかがでしょうか。運動会や陸上記録会、なわとびチャレンジなど、活発に体を動かすことが多い2学期ですが、読書の楽しさを味わうのにもとてもよい季節です。少し気分を切り替えてゆっくりした気持ちで本に親しんでほしいと思います。

近年、テレビやゲームなどスクリーンタイムが増え、子供の読書時間が減っています。特に高学年になるに従って読書量にも個人差が出てきており、家庭や学校で読書環境を整えていく必要があるようです。ある子育ての講演会で、「本はなくても子は育つが、育ち方はだいぶ違う。本を読むことによって与えられるものは、無限の自由であり、魂の飛翔である。想像力もまたそこで鍛えられ、深い人間に至る道がひらかれる。」というお話を聞きました。ご多用とは思いますが、ぜひ親子で読書の時間を設けて取り組んでください。

6年生修学旅行 ～学習の成果を学校のリーダーとして発揮を！～

10月24～25日、6年生が1泊2日で熊本へ修学旅行に行きました。それぞれが「時間」「公共のマナー」「ルール」を自覚しながら行動しました。大きな怪我やハプニングもなく楽しく過ごすことができました。熊本城やグリーンランドでの集団行動を通して、さらにクラスの仲間意識が高まったと思います。

日ごろから、低学年の面倒をよく見るやさしい6年生。この修学旅行での経験を学校全体に広げ、学校のリーダーとしてさらにより良い阿久根小を築いてほしいと思います。

